

# 2020年3月期 第1四半期 決算説明会

富士フイルム ホールディングス株式会社

2019年8月8日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おください。

2020年3月期 第1四半期 決算 概要

**FUJIFILM**

## 2020年3月期 第1四半期(3ヶ月)決算のポイント

**営業利益は前年比増益を確保  
為替影響を除くと+9.9%の増益  
計画に対して順調に進捗**

<p><b>事業別 業績 (前年比)</b></p>	<p><b>売上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 全体では、イメージングやドキュメントの欧米向け輸出の減少などにより減収となるも、事業別ではメディカルシステム事業、バイオCDMO事業、再生医療事業がけん引し、ヘルスケアが伸長</li> </ul> <p><b>営業利益</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ メディカルシステム事業、バイオCDMO事業の増収などによりヘルスケアが増益</li> <li>✓ ドキュメントは、収益性の改善や構造改革効果により増益</li> <li>✓ イメージングとマテリアルズは減収により減益</li> </ul>
<p><b>特記 事項</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 500億円の自己株式取得を決定(8月8日)。中期経営計画通り、3年間で合計2,000億円の自己株式取得を実施</li> <li>✓ 米バイオ医薬品大手バイオジェン社の製造子会社を連結子会社化(8月1日)</li> </ul>

## 2020年3月期 第1四半期 業績 (2019年4月～2019年6月)

(単位：億円)

	1Q				
	2019年3月期	2020年3月期	対2019年3月期	為替影響	為替影響除く
売上高	5,649 100.0%	5,353 100.0%	-296 -5.2%	-72	-224 -4.0%
営業利益	369 6.5%	371 6.9%	2 +0.7%	-34	36 +9.9%
税金等調整前 四半期純利益	458 8.1%	264 4.9%	-194 -42.4%	-68	-126 -27.6%
当社株主帰属 四半期純利益	283 5.0%	147 2.7%	-136 -48.2%	-47	-89 -31.7%
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	65.83円	35.82円	-30.01円		
為替 : 米ドル : ユーロ	109円 130円	110円 123円	1円安 7円高		

<その他増減要因 (対前年度)>  
営業利益における  
原材料価格影響：+11億円

3

## セグメント別 連結売上高／営業利益

(単位：億円)

売上高	1Q		対前年度	為替影響	為替影響除く
	2019年 3月期	2020年 3月期			
イメージング	879	746	-133 (-15.1%)	-17	-116 (-13.2%)
ヘルスケア	1,018	1,041	23 (+2.2%)	-16	39 (+3.8%)
ヘルスケア&マテリアルズ	2,359	2,276	-83 (-3.5%)	-27	-56 (-2.4%)
ドキュメント	2,411	2,331	-80 (-3.3%)	-28	-52 (-2.2%)
合計	5,649	5,353	-296 (-5.2%)	-72	-224 (-4.0%)

\*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益	1Q		対前年度	為替影響	為替影響除く
	2019年 3月期	2020年 3月期			
イメージング	122	45	-77 (-63.2%)	-9	-68 (-55.8%)
ヘルスケア	8	53	45 (6.6倍)	-11	56 (8.0倍)
ヘルスケア&マテリアルズ	181	189	8 (+4.2%)	-10	18 (+9.4%)
ドキュメント	149	217	68 (+45.5%)	-16	84 (+56.0%)
本社/連結調整	-83	-80	3	1	2
合計	369	371	2 (+0.7%)	-34	36 (+9.9%)

4

## セグメント別 概況

## ■ イメージング ソリューション

(単位：億円)					
売上高	対前年度		営業利益	対前年度	
746	-133	(-15.1%)	45	-77	(-63.2%)

- ・ フォトイメージングでは、カラーペーパーの販売減に加えて、インスタントフォトシステムで新製品発売前の端境期であったことや米国の一部リテーラーで在庫調整が入ったことなどにより売上は減少。2019年6月に発売したハイブリッドインスタントカメラ「instax mini LiPlay」を中心に拡販を図る。
- ・ 電子映像では、市場環境が厳しく、主にミラーレスのエントリーモデルの売上が減少。2019年3月に発売した「FUJIFILM X-T30」や6月に発売した「FUJIFILM GFX100」などのミドル・ハイエンドモデルの販売は好調に推移。
- ・ 光学デバイスでは、主に中国景気の減速による車載用など各種産業用レンズの需要減の影響を受け、売上は減少。プロジェクター「FUJIFILM PROJECTOR Z5000」やシネマカメラ用ズームレンズ「Premista」シリーズなど、新製品のラインアップ強化により、事業成長を図る。

**売上は、インスタントフォトシステムやミラーレスデジタルカメラの販売減の影響などで減収。営業利益は、減収により減益。**

## セグメント別 概況

## ■ ヘルスケア&amp;マテリアルズソリューション

(単位：億円)					
売上高	対前年度		営業利益	対前年度	
2,276	-83	(-3.5%)	189	8	(+4.2%)

- ・ メディカルシステムは、医療ITや内視鏡などの分野で販売が好調に推移。バイオCDMOは、設備増強によりバイオ医薬品の開発・製造受託が好調に推移。再生医療は、2018年6月に連結子会社化した培地のリーディングカンパニーFUJIFILM Irvine Scientific が寄与し、売上が大幅に増加。
- ・ ディ스플레이材料は、WVフィルムの需要減などの影響で売上が減少したものの、有機EL向けなどの新製品販売が好調に推移。
- ・ 電子材料は先端フォトリソ周辺材料などの販売が堅調に推移。
- ・ 記録メディアでは、大容量データストレージ用磁気テープ製品の販売が堅調に推移。
- ・ グラフィックシステムは、刷版材料の需要減により売上は減少。

**売上は、全体では減少となるも、バイオCDMO事業、メディカルシステム事業、再生医療事業がけん引し、ヘルスケアが伸長。営業利益は、ヘルスケアの収益性改善により増加**

## セグメント別 概況

(単位：億円)

## ■ ドキュメント ソリューション

売上高	対前年度		営業利益	対前年度
2,331	-80	(-3.3%)	217	68 (+45.5%)

- ・ オフィスプロダクト分野では、欧米向け輸出が減少したものの、小規模事業所向けカラー複合機「DocuCentre-VI C2264」やセキュリティ機能を強化したカラー複合機「ApeosPort-VII C」シリーズを中心に、国内およびアジア・中国において販売が堅調に推移。
- ・ プロダクションサービスは、高速・高画質のカラー・オンデマンド・パブリッシング機「Iridesse™ Production Press」の販売が各地域で引き続き好調。
- ・ ソリューション&サービスは、オーストラリアで大型BPO契約を獲得。国内では、オフィスのIT環境の構築、運用などを一括してサポートする役務サービスが伸長し、売上が好調に推移。

欧米向け輸出の減少などにより減収も、  
収益性の改善や構造改革の効果により増益

7

## 連結貸借対照表

(単位：億円)

	18年 3月期末	19年 3月期末	20年3月期 6月末	対19年 3月期末		18年 3月期末	19年 3月期末	20年3月期 6月末	対19年 3月期末
現金 及び現金同等物	7,682	6,547	7,024	477	長短社債 及び借入金	4,542	5,241	5,241	0
受取債権	6,191	6,178	5,222	-956	支払債務	2,485	2,384	2,194	-190
棚卸資産	3,613	3,745	3,984	239	その他流動 固定負債	4,915	4,073	4,768	695
その他流動資産	1,122	839	1,019	180	負債計	11,942	11,698	12,203	505
流動資産計	18,608	17,309	17,249	-60	株主資本計	20,791	20,370	20,222	-148
有形固定資産	5,375	5,268	5,181	-87	非支配持分	2,196	2,079	2,053	-26
営業権	5,916	6,555	6,457	-98	純資産計	22,987	22,449	22,275	-174
投資有価証券 その他資産	5,030	5,015	5,591	576	負債・純資産 合計	34,929	34,147	34,478	331
固定資産計	16,321	16,838	17,229	391					
資産合計	34,929	34,147	34,478	331					

(単位：円)

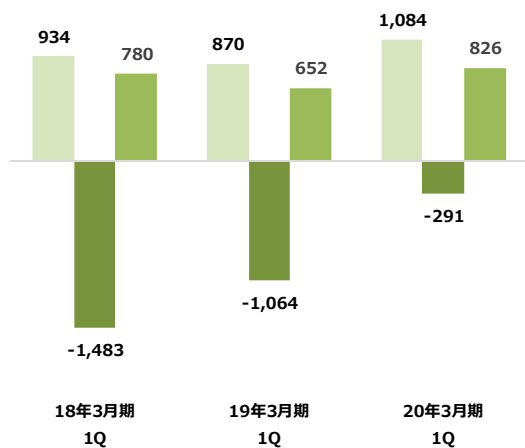
期末日 為替レート	18年 3月期末	19年 3月期末	20年3月期 6月末	対19年 3月期末
米ドル	106	111	108	3円高
ユーロ	131	125	122	3円高

8

## キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー（事業買収等除く）

(単位：億円)



(単位：億円)

	18年3月期 1Q	19年3月期 1Q	20年3月期 1Q
四半期純利益	476	313	188
減価償却費	307	313	300
受取債権の増(-)減(+)	745	585	859
棚卸資産の増(-)減(+)	-306	-293	-304
営業債務の増(+)-減(-)	-212	-75	-89
その他	-76	27	130
営業活動によるC F	934	870	1,084
設備投資	-134	-148	-185
ソフトウェアの購入	-33	-38	-38
投資有価証券の売却・購入等	-72	-2	-33
事業買収	-1,257	-844	0
その他	13	-32	-35
投資活動によるC F	-1,483	-1,064	-291
フリー・キャッシュ・フロー	-549	-194	793
事業買収等を除くフリー・キャッシュ・フロー※	780	652	826

※フリー・キャッシュ・フローから、事業買収および有価証券・投資有価証券等の売却・購入を控除しています。

2020年3月期 第1四半期 決算説明会

## 富士ゼロックスにおける構造改革

10

2020年3月期 第1四半期 決算 概要

FUJIFILM

## 富士ゼロックスにおける構造改革

(単位：億円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画	2021年3月期 計画	合計
構造改革費用等 一時費用	700	161	100	20	981
効果	0	310	180	60	550

2020年3月期	1Q実績	通期計画
構造改革費用等 一時費用	41	100
効果	83	180

2020年3月期第1四半期の構造改革は  
計画通り順調に進捗

11

2020年3月期 第1四半期 決算説明会

2020年3月期 業績予想

2020年3月期 通期業績予想

2020年3月期 連結業績予想 (2019年8月8日時点)

(単位：億円)

	2019年3月期	2020年3月期 中期経営計画 (VISION2019)	2020年3月期	対前年度	対中期経営計画
売上高	24,315 100%	26,000 100%	24,800 100%	485 +2.0%	-1,200 -4.6%
営業利益	2,098 8.6%	2,300 8.8%	過去 最高 2,400 9.7%	302 +14.4%	100 +4.3%
税金等調整前 当期純利益	2,128 8.8%	-	過去 最高 2,450 9.9%	322 +15.2%	-
当期純利益	1,571 6.5%	-	過去 最高 1,770 7.1%	199 +12.6%	-
当社株主帰属 当期純利益	1,381 5.7%	1,500 5.8%	過去 最高 1,550 6.3%	169 +12.2%	50 +3.3%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	326.81円	-	378.71円	+51.90円	-
ROE	6.7%	7.3%	7.5%	+0.8%	+0.2%
為替 : 米ドル	111円	110円	110円	1円高	-
: ユーロ	128円	120円	125円	3円高	5円安
銀価格 (/kg)	55,000円	62,000円	58,000円	+3,000円	-4,000円

\* 2020年3月期 営業利益 為替感応度 米ドル：8億円 ユーロ：8億円

2020年3月期 第1四半期 決算説明会

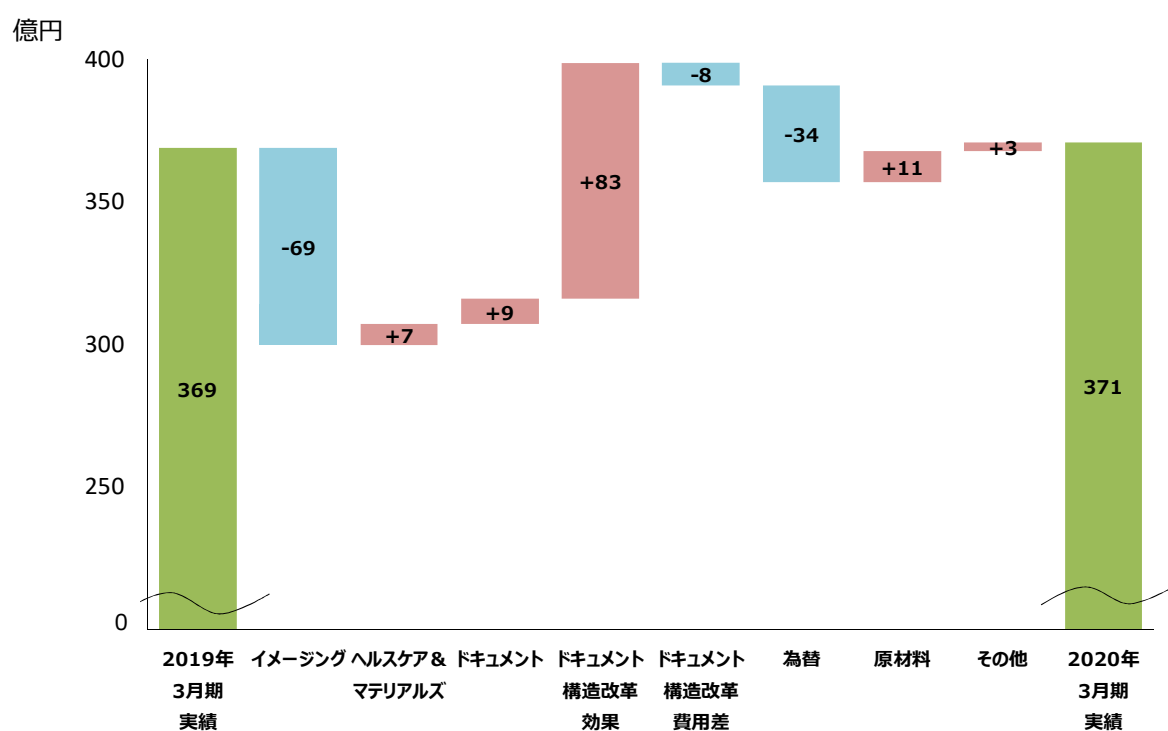
参考資料

14

2020年3月期 第1四半期 決算説明会 参考資料

**FUJIFILM**

営業利益増減分析(対前年1Q実績)





## 1Q 業績

## ■ イメージング ソリューション

(単位：億円)

売上高	1Q			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く
フォトイメージング	558	469	-89 (-16.0%)	-80 (-14.4%)
電子映像	228	196	-32 (-13.9%)	-25 (-10.8%)
光学デバイス	93	81	-12 (-12.8%)	-11 (-12.0%)
光学・電子映像	321	277	-44 (-13.6%)	-36 (-11.1%)
合計	879	746	-133 (-15.1%)	-116 (-13.2%)

\*セグメント間取引消去後

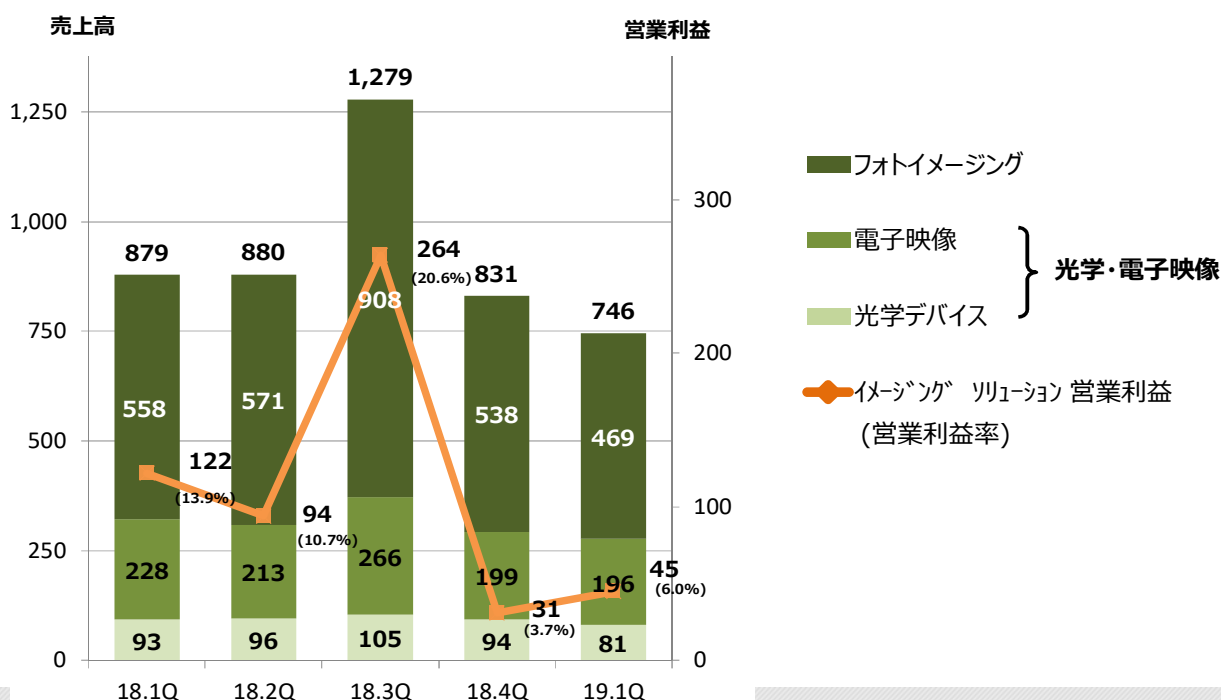
営業利益 [営業利益率]	1Q			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く
イメージング	122 [13.9%]	45 [6.0%]	-77 (-63.2%)	-68 (-55.8%)

16

## セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

## ■ イメージング ソリューション

(単位：億円)



17

## 1Q 業績

## ■ ヘルスケア&amp;マテリアルズ ソリューション

(単位：億円)

売上高	1Q			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	
				為替影響除く
ヘルスケア	1,018	1,041	23 (+2.2%)	39 (+3.8%)
ディスプレイ材料	230	208	-22 (-9.5%)	-22 (-9.5%)
産業機材/電子材料 ファインケミカル	436	412	-24 (-5.2%)	-22 (-4.7%)
高機能材料	666	620	-46 (-6.7%)	-44 (-6.4%)
記録メディア	93	97	4 (+3.3%)	4 (+3.3%)
グラフィックシステム/インクジェット	579	515	-64 (-11.0%)	-55 (-9.5%)
その他	3	3	0	0
合計	2,359	2,276	-83 (-3.5%)	-56 (-2.4%)

\*セグメント間取引消去後

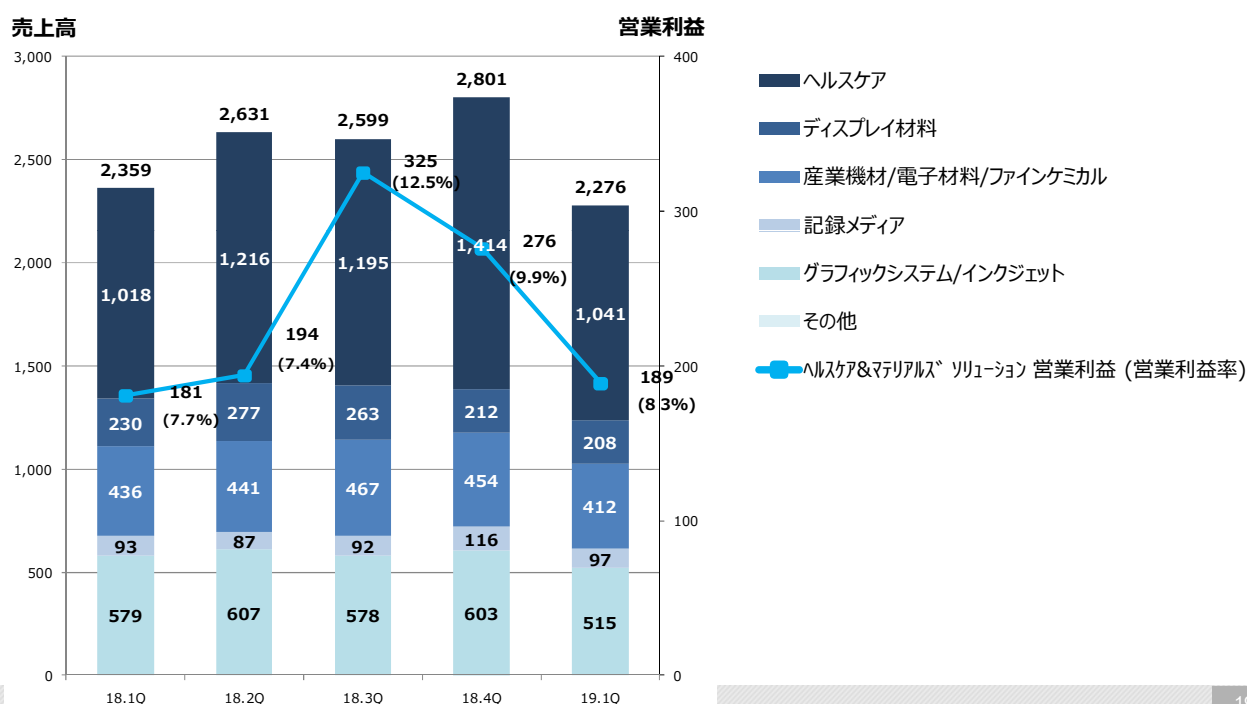
営業利益 [営業利益率]	1Q			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	
				為替影響除く
ヘルスケア	8 [0.8%]	53 [5.1%]	45 (6.6倍)	56 (8.0倍)
ヘルスケア&マテリアルズ	181 [7.7%]	189 [8.3%]	8 (+4.2%)	18 (+9.4%)

18

## セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

## ■ ヘルスケア&amp;マテリアルズ ソリューション

(単位：億円)



19

## 1Q 業績

## ■ ドキュメント ソリューション

(単位：億円)

売上高	1Q			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	
			為替影響除く	
オフィスプリンター	301	288	-13 (-4.3%)	-14 (-4.6%)
オフィスプロダクト&プリンター	1,397	1,337	-60 (-4.3%)	-48 (-3.4%)
プロダクションサービス	292	273	-19 (-6.5%)	-15 (-5.1%)
ソリューション&サービス	579	625	46 (+8.1%)	56 (+9.7%)
その他	143	96	-47	-45
合計	2,411	2,331	-80 (-3.3%)	-52 (-2.2%)

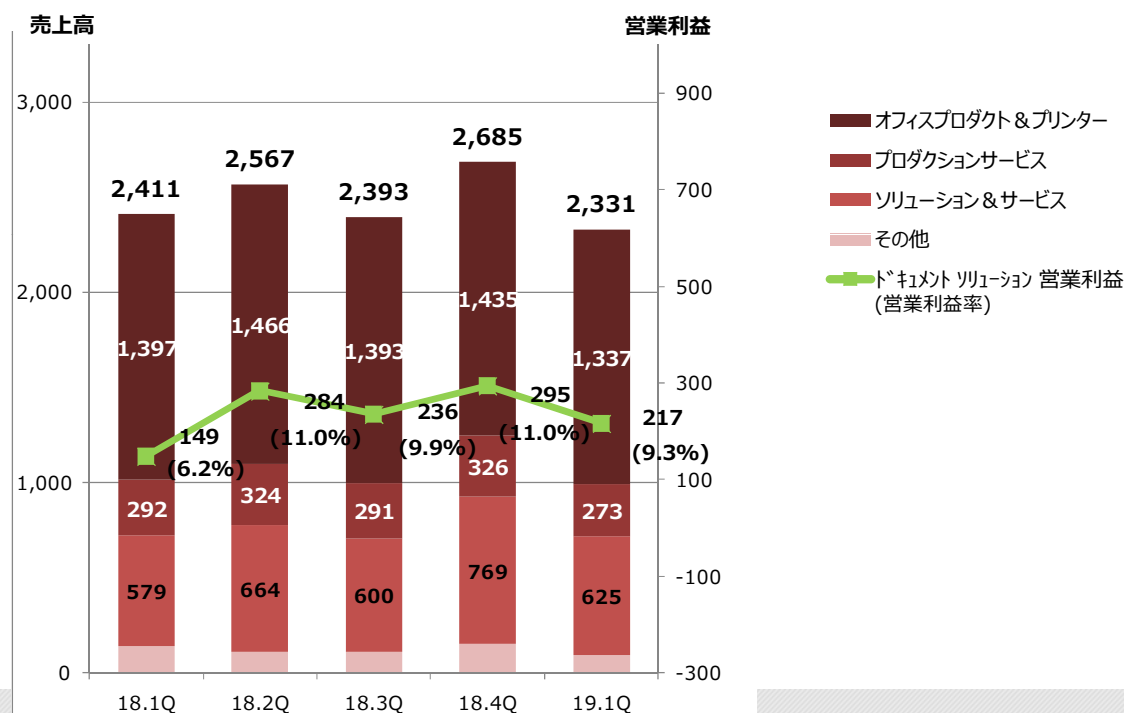
\*セグメント間取引消去後

営業利益 [営業利益率]	1Q			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	
			為替影響除く	
ドキュメント	149 [6.2%]	217 [9.3%]	68 (+45.5%)	84 (+56.0%)

20

## セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

## ■ ドキュメント ソリューション (単位：億円)



21

## 国内・海外別連結売上高

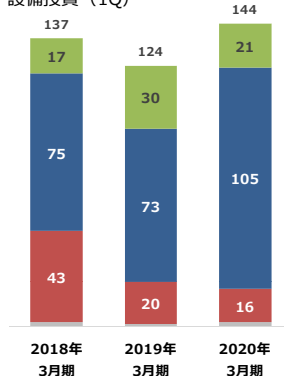
(単位：億円)

	2019年3月期 1Q		2020年3月期 1Q		対前年度	
	構成比(%)		構成比(%)			
日本	40.7%	2,299	41.4%	2,214	-85	(-3.7%)
米州	19.0%	1,076	18.5%	992	-84	(-7.7%)
欧州	12.7%	718	12.8%	688	-30	(-4.2%)
内、中国	12.9%	731	12.8%	687	-44	(-5.9%)
アジア他	27.6%	1,556	27.3%	1,459	-97	(-6.2%)
海外	59.3%	3,350	58.6%	3,139	-211	(-6.3%)
合計	100.0%	5,649	100.0%	5,353	-296	(-5.2%)

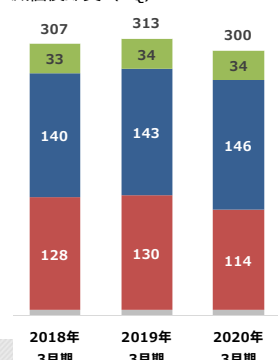
22

## 設備投資、減価償却費

設備投資 (1Q)



減価償却費 (1Q)



(単位：億円)

年度	1Q			通期		
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期(予想)
イメーシング	17	30	21	94	106	
ヘルスケア&マテリアルズ	75	73	105	427	505	
ドキュメント	43	20	16	138	117	
コーポレート	2	1	2	16	26	
設備投資 ※	137	124	144	675	754	900
イメーシング	33	34	34	133	141	
ヘルスケア&マテリアルズ	140	143	146	575	631	
ドキュメント	128	130	114	547	501	
コーポレート	6	6	6	21	26	
減価償却費	307	313	300	1,276	1,299	1,280
有形固定資産の減価償却費 ※	162	167	163	665	709	

※ ドキュメントソリューション部門等のレンタル資産を除く。

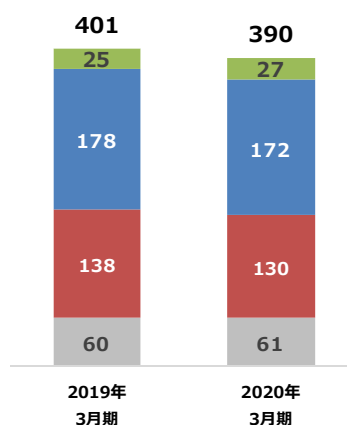
- イメーシングソリューション
- ヘルスケア&マテリアルズソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

23

## 研究開発費、販売費及び一般管理費

研究開発費 (1Q)

(単位：億円)



- イメーシングソリューション
- ヘルスケア&マテリアルズソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

年度	1Q		通期	
	2019年3月期	2020年3月期	2019年3月期	2020年3月期(予想)
イメーシング	25	27	99	
ヘルスケア&マテリアルズ	178	172	698	
ドキュメント	138	130	512	
コーポレート	60	61	252	
研究開発費	401	390	1,561	1,550
<売上高比>	7.1%	7.3%	6.4%	6.3%
販売費及び一般管理費	1,587	1,523	6,316	
<売上高比>	28.1%	28.4%	26.0%	

24

## 為替、原材料価格、人員

## 為替

(単位：円)

	2019年3月期					2020年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	通期(予想)
米ドル	109	111	113	110	111	110	110
ユーロ	130	130	129	125	128	123	125

## 原材料価格 (平均)

(単位：千円/kg)

	2019年3月期					2020年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	通期(予想)
銀	58	54	53	55	55	53	58

## 人員

(単位：人)

	2018.6末	2018.9末	2018.12末	2019.3末	2019.6末
連結	77,060	75,329	74,425	72,332	72,358

25

## 2020年3月期 連結業績予想 (2019年8月8日時点)

(単位：億円)

	2020年3月期 上期	2020年3月期 下期	2020年3月期
売上高	11,700 100%	13,100 100%	24,800 100%
営業利益	930 7.9%	1,470 11.2%	2,400 9.7%
税金等調整前 当期純利益	950 8.1%	1,500 11.5%	2,450 9.9%
当社株主帰属 当期純利益	580 5.0%	970 7.4%	1,550 6.3%

26

## 2020年3月期 セグメント別業績予想 (2019年8月8日時点)

(単位：億円)

売上高	2019年 3月期	2020年3月期 中期経営計画 (VISION2019)	2020年 3月期	対前年度	対中期経営計画
イメージング	3,869	3,800	4,000	131 (+3.4%)	200
ヘルスケア	4,843	5,000	5,100	257 (+5.3%)	100
マテリアルズ	5,547	6,200	5,600	53 (+1.0%)	-600
ヘルスケア&マテリアルズ	10,390	11,200	10,700	310 (+3.0%)	-500
ドキュメント	10,056	11,000	10,100	44 (+0.4%)	-900
合計	24,315	26,000	24,800	485 (+2.0%)	-1,200

\*セグメント間取引消去後

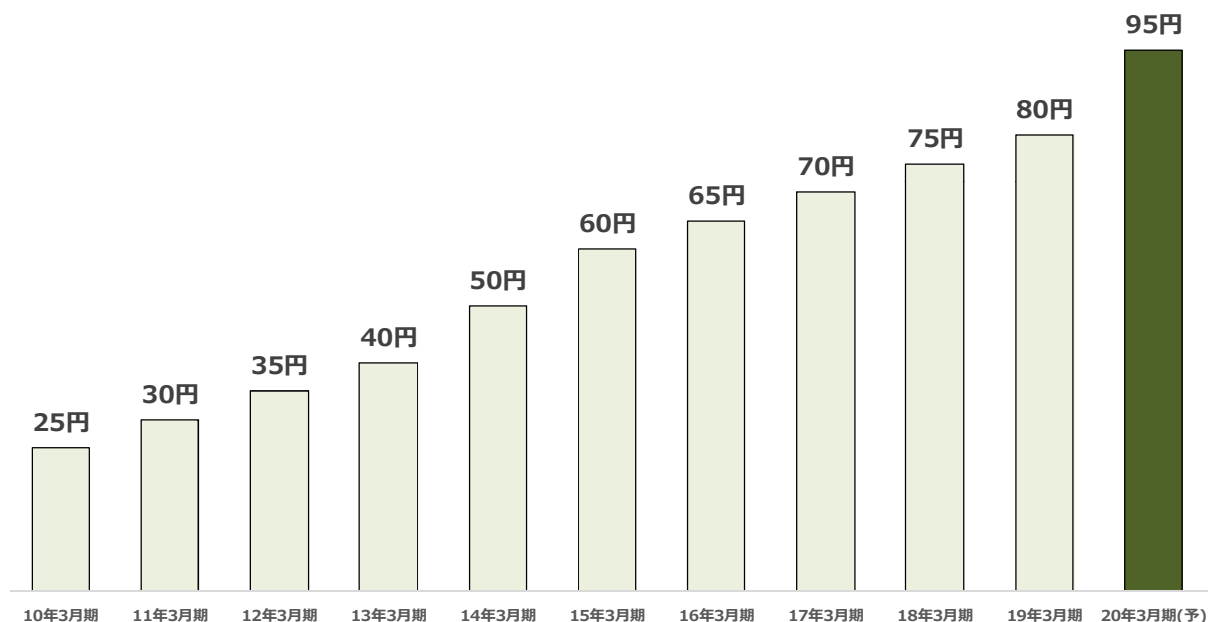
営業利益	2019年 3月期	2020年3月期 中期経営計画 (VISION2019)	2020年 3月期	対前年度	対中期経営計画
イメージング	511	450	530	19 (+3.7%)	80
ヘルスケア	333	400	440	107 (+32.1%)	40
マテリアルズ	643	850	650	7 (+1.1%)	-200
ヘルスケア&マテリアルズ	976	1,250	1,090	114 (+11.7%)	-160
ドキュメント	964	950	1,190	226 (+23.4%)	240
全社/連結調整	-353	-350	-410	-57	-60
合計	2,098	2,300	2,400	302 (+14.4%)	100

27

## 株主還元

## ■ 配当金

2020年3月期の配当金は、10期連続増配となる対前年15円増配の95円/株を予定



## パイプライン (2019年8月8日時点)

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階
T-705	抗インフルエンザウイルス薬	経口	日本	承認済み
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 治療薬		米国	Ph III
T-3811	キノロン系合成抗菌薬	経口	中国	承認済み
T-2307	抗真菌薬	注射	米国	Ph I
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療薬	経口	米国	Ph II
			日本	Ph II
	脳卒中後のリハビリテーション効果促進薬		日本	Ph II
T-4288	新規フルオロケトライド系抗菌薬	経口	日本	承認申請中
FF-10501	骨髄異形成症候群治療薬	経口	日本	Ph I
FF-10502	進行・再発固形がん治療薬		米国	Ph II
FF-21101	進行・再発固形がん治療薬 (Armed抗体)	注射	米国	Ph II
F-1311	前立腺がん診断薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph II
FF-10101	急性骨髄性白血病治療薬	経口	米国	Ph I
F-1515	神経内分泌腫瘍治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph I / II
FF-10832	進行性固形がん治療薬 (ゲムシタピクリゾーム)	注射	米国	Ph I
F-1614	難治性褐色細胞腫治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph II

## 参考情報

### 富士フィルムホールディングス 株主・投資家情報

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/index.html>

### 富士フィルムホールディングス 統合報告書2018

[https://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir\\_library/integrated\\_reports/index.html](https://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_library/integrated_reports/index.html)

### IRイベント資料

[http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir\\_events/business\\_presentations/index.html](http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_events/business_presentations/index.html)

#### ・事業説明会資料

- 2018年 3月 イメージングソリューション事業説明会
- 2019年 1月 医薬品・バイオCDMO・再生医療事業説明会
- 2019年 2月 ESG説明会

### 富士フィルムってどんな会社？

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/individual/guidance/index.html>

### グローバルブランディングキャンペーン「NEVER STOP」

<https://brand.fujifilm.com/neverstop/jp>

# FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>